

山梨医療安全研究会会報 2015.5

新会長挨拶

会員の皆様。3月に開催されました第10回研究会大会において会長を拝命いたしました。

山梨医療安全研究会は、平成18年に発足し、今年10年目を迎えました。この間、研究会は皆様の多大なご協力を頂きながら様々な安全の取り組みを行い、山梨の医療の質の向上に努めて参りました。現在では、この活動が病院だけでなく診療所、介護施設など地域の保健福祉施設に拡がりを見せています。また、当初看護職を中心として始めた活動が、いまでは多くの専門職が連携し、知識・技術を共有し、医療・介護の安全に取り組む、チーム医療の場として機能しています。本研究会が、今後益々、院内の安全の確保とともに、山梨県内、さらには県外との連携の拠点として発展できますよう、皆様とともに活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。 小林美雪 (山梨県立大学)



専任リスクマネージャーの紹介

No.6

医療法人弘済会宮川病院
 薬局長/医療安全管理者 一瀬 明信

県内でも少ない薬剤師の医療安全管理者です。医薬品安全管理者も兼務しています。薬剤師としての知識を活かしながら、研究会と薬剤師会のネットワークを駆使して各分野の方に意見をいただいております。目標は、「大病院に負けない柔軟な医療安全文化の構築」です。



平成27年度役員紹介

- 会長 小林美雪
- 副会長 石井仁士 藤森玲子
- 会計 伊藤佐知子 長田美由紀
- 監事 笠井英美
- 役員 佐野陸美 渡辺恵美子 上條優子 矢崎はる美 田之上久美子
 清水恵子 渡辺久子 古屋塩美 野口美奈子 深田久子
 今泉光代 一瀬明信 北原克晃 井上恵理 岡恵 坂本裕子
 須山千恵
- 顧問 松下由美子



今年度もよろしく
 お願いします。

山梨医療安全研究会10周年記念大会

3月7日、本研究会の10周年記念大会を開催した。講演では1999年の都立広尾病院での医療事故被害者である永井裕之氏に、「医療事故被害者の願いは叶えられたのか」をテーマにお話し頂いた。永井氏は講演のはじめに、最愛の妻を亡くされた静脈内への消毒液誤注入の医療事故について、病院の安全文化の欠如が招いた「起こるべくして起きた事故」であったことを多くの事実から示された。被害者家族の深層心理が心痛むほど伝わってきた。

永井氏は事故に関わった看護師二人のみが真実を言ってくれたにもかかわらず「辞職に追い込まれたため二人も事故の犠牲者ではないか」とも述べられた。事故を起こさないように取り組むことは大前提だが、それに加えて患者や家族の気持ちを汲み取る事の出来る医療従事者に近づきたいとあらためて考えさせられる有意義な講演会であった。私たちは、専門職としての責任と誇りを持って医療安全を推進し、辛い医療事故の体験を医療の質の向上のために語り続けている永井氏に答えなければならない。(北原・小林)



「医療事故被害者の願いは叶えられたのか」
 講演 山梨県立大学看護学部 永井裕之氏

第10回記念大会実践報告優秀賞

- 最優秀賞 市立甲府病院 臨床工学士 杉本栄二さん
 「血液浄化療法における医療安全の取り組み～写真を用いたバスキュラーアクセス管理～」
- 優秀賞 富士吉田市立病院 看護師 岩田麻理さん
 「患者誤認の発生要因と発生場所 患者確認インシデント報告から今後の取り組みを考える」
- 特別賞 貢川整形外科病院 看護師 大内有加さん他11名
 甲府共立病院 臨床工学士 飯窪 護さん他8名



おめでとうございます。
 今後も
 ご活躍ください。

平成27年度 研修会 予定

詳しくはポスターを
 参照してください

- 8月22日(土)「ノンテクニカルスキルの実践に向けて」
 講師 小松原 明哲先生
 (早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工学科教授)
- 9月26日(土)「医療安全の基本中の基本 KYT・5S を学びなおす」
- 11月28日(土) 施設見学会
 「なかなか減らない転倒転落事例を考える」
 見学場所: パラマウントベッド営業所
- 12月12日(土)「組織としての効果的な医療安全教育の構築」

平成28年3月5日(土)第11回大会
 研修会参加は会員無料 非会員¥1,000-/回 となります。

特報:10月31日(土)
 「医療の質・安全学会ネットワーク会議 in 山梨」開催